

## 新入生の皆さんへ

学長 井上 琢 智

新入生の皆さん、関西学院（Kwansei Gakuin）大学へのご入学おめでとうございます。皆さんのご入学を、関西学院の教職員、同窓の皆さんとともに心から歓迎いたします。

関西学院は、1889（明治22）年、アメリカの南メソヂスト監督教会の宣教師で初代院長となったW.R.ランバスによって創立されました。この学院創立以来、これまで121年間にわたり、関西学院は「キリスト教主義（Principles of Christianity）にもとづく全人教育」を建学の精神とし、その精神を実現する行動指針であるスクール・モットーとして、第四代院長C. J. Lベーツが提唱した“Mastery for Service”を重んじてきました。

大学入学というゴールを目指して全身全霊を捧げたこれまでの生活から開放された今、そのエネルギーをどこに向けようか、と考えておられるでしょう。関西学院大学は、そのような皆さんに新しい「学び」の場を提供できます。

この新しい「学び」の場に立った今、皆さんには「学ぶ」ということを改めて考えてほしいと思います。大学で「学ぶ」とは、高等学校までの「勉強」と同じでしょうか。これまでの「勉強」が既存の知識の習得であったとすれば、これからの「学び」は、「知」の新たな創造への第一歩だといえます。もしも「勉強」が親や教師など周囲からの強制によって行われたものであったとすれば、「学ぶ」とは自らが主体的に行う知的作業です。この知的作業は、あらゆるものに問いかけ、疑問を抱くことから始まります。「これなに?」、「これなぜ?」と問いかけてこそ、新たな「学び」が始まるのです。これからの学生生活が、その問いかけとその解答を求める旅であってほしいと願っています。

関西学院大学での皆さんの学生生活が、実り豊かなものとなり、その学生生活を通じて、生涯の羅針盤を皆さんが手に入れられることと信じています。

院長 Ruth M. Grubel

関西学院大学へようこそ！

関西学院を代表し、皆さんがこの「Learning Community（学びと探究の共同体）」に加わられたことを心からお喜び申し上げます。

現代社会において、私たちは、選択肢が多ければ多いほど生活が豊かになるようによく思います。しかし、毎日多くの選択をするのは決して易しいことではありません。コンビニエンスストアでどの飲み物を買うか、旅先ではどのホテルに泊まるか、どの大学に入学するかなど、様々な決断をしなければなりません。広告には私たちに完璧な選択（完璧な保険、完璧な住宅、完璧な車など）があるように思われますが、私たちは選択をした後、例えばランチに行くレストランにしても、「いい選択だったのだろうか。近くにもっといいレストランがあったのではないか。」と思うことがあります。

私たちは、本当に完璧な選択をしたのかと悩み、不安になりがちです。しかし、人生において賢明な決断や選択をするのはなかなか難しいことではありますが、それは学ぶべき大切な能力です。そして、選択肢についてよく検討し、慎重に選択をしたら、今度は「それが正しい決断だった」とするために、努力していくことが必要です。

関西学院大学は皆さんを今年の新入生に選びましたが、皆さんもまた関西学院大学に入学するというすばらしい選択をされたとは私は確信しています。これから皆さんはここで最高の時間と機会をぜひもってください。キャンパス生活を満喫し、今まで出会ったことのない多くの人を知り、たくさんの科目を学び、ボランティア活動やクラブなどに参加し、チャペルに出席し、留学し、様々な可能性に是非とも挑戦してください。もし皆さんが関西学院大学で最高の時を過ごせるよう一生懸命取り組めば、関西学院大学に入学したことは皆さんの人生で最高の選択のひとつになると、私は自信をもって保証します。

日本においても、世界においても数多くの深刻な問題が私たちの前に立ちはだかっています。これらの問題の解決のために、異なる文化や状況の人々と対話し、共感し、社会を変える勇気のある創造的で有能な人が必要とされています。皆さんはこのような世界市民になるツールを関西学院大学できっと見つけることができるでしょう。そして、関西学院大学のキリスト教主義に基づいた教育は、他者と私たちが共に生きる地球を思いやる気持ちを育むでしょう。ここで得るものや時間を有意義に活用して、自分の能力を磨き、社会のためにどのように生きていけるか考えてください。そして、日本と世界の明るい未来を創造する担い手になってください。

皆さんが関西学院大学を選ばれたことを、再度お祝い申し上げます。ここでの時間が実りある選択肢に恵まれたものでありますように。